



# 上山小学校「風のたより」

令和5年5月25日（木） 校長 有谷孝彦



学校経営目標：ふるさとを愛し、  
自らの未来を切り拓く児童を育成する



## やり遂げること！

つい先日、本校の中庭にある諫早菖蒲の茎が伸び始めたかと思えば、もう花を咲かせる準備をしています。毎年の事ながら、季節の移り変わりを体感できる環境は素晴らしいです。

さて、21日（日）雲一つない晴天の中、「負けていてもあきらめない！力を合わせて最後まで」のテーマのもと、運動会を開催しました。学校の一大



イベントでもありますので、子どもたちのやる気を感じるこのひと月間でありました。ただいてくれるだけでもほほえましい1年生は、初めての運動会で観衆に笑顔をもたらしてくれました。徒競走の時に、前の子どもに「待ってえ〜」と叫びながら走る姿は、大変ほほえましかったです。小学校生活最後の運動会を迎えた6年生は、集団をまとめリードするという大役に、押しつぶされることなくやり遂げることができました。子どもの「学びに向かう力」は、大人になるための重要な「生きる力」となります。がんばったね！（^\_^）



お船が遠く かすんでる

はるかに見える 青い海

思い出の道 丘の道

みかんの花が咲いている

みかんの花咲く丘

詞 高野辰之

## 忘れてはならないこと

昭和40年代でしょうか。私の家の周りには、たくさんの子どもがいました。子どもたちは、家の縁側を伝って隣の家にびよんと飛び渡り、遊びに行っていました。家に水道はなく、共同で使っていました。遊び道具は特になかったので、秘密基地を作ったり、ビー玉をしたり、釘を研いで地面に刺したりして、夢中で遊んでいました。男女の隔たりもなく、年上の兄ちゃんや姉ちゃんの言うことは、絶対でした。悪さをすると、分け隔て無くどの家庭からも怒られていました。時には、近所のおばちゃん（親戚ではない）の家で、晩ご飯やお風呂もいただいて、夕方を過ごしました。その頃には、季節の風や土の薫りが漂っていたように記憶しています。

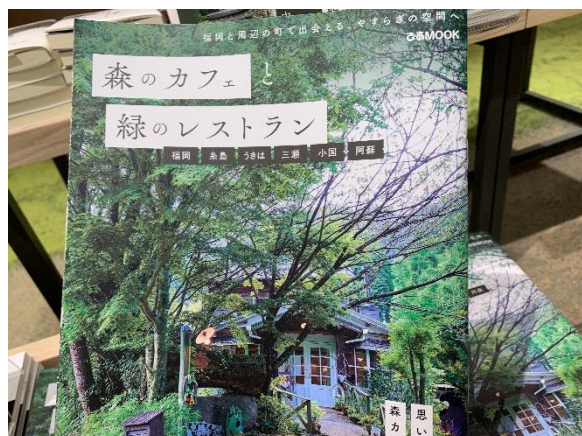


我が上山小学校の育友会は、現代社会を投影しつつ「忘れてはならない大切なこと」を子供たちに伝えようと奮闘していらっしやいます。まつり部では、会員の皆様に負担がかからないように、しかし最大限の楽しみを子どもたちと共有しようと何度も話し合いを重ねながら準備されています。本当にありがたいです。私たちはこの愛情をしっかりと受け止めなければならないと強く感じています。本当に子どもに大切なことを・・・。

## やっぱりきついですよ

昨年も同じようなことを学校だよりに掲載したのですが、運動会が終わった時期は、子どもたちは燃え尽き症候群ではないのですが、やや目標を失っていつもの勢いが感じられません。と、いいつつ、私たち大人も大きなため息をつきがちな時期です。

先日、アミュプラザに出向いたときに、本屋さんに立ち寄りまして。「森のカフェ 緑のレストラン」という本が目に留まりました。美味しいコーヒーを飲みながら、いつもと違う雰囲気を楽しむことは必要だと思います。大人も心を潤さなきゃですよ。（\*^^\*）



☆上山小のHP「スミレだより」毎日更新しています。QRコードもご利用ください。